

# 事故のグループ懇談手法

人間科学研究部(安全心理)

井上 貴文



Railway Technical Research Institute

# グループ懇談とは何か



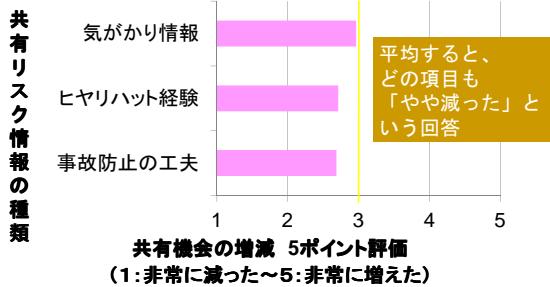
ファシリテーターを中心に、5、6人で事故やヒヤリハットについて**ワイワイ**話し合うもの

グループ懇談の様子



Railway Technical Research Institute

# インフォーマルなリスク共有の実態

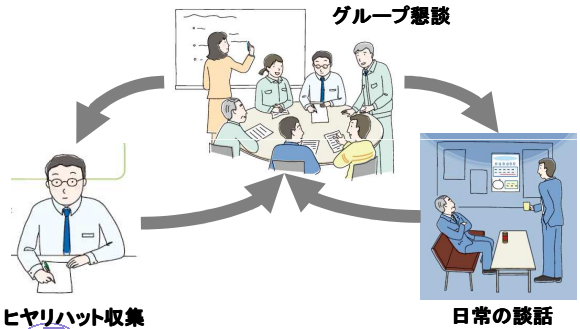


リスク情報共有の増減調査の結果 (鉄道事業者職員 84名)



Railway Technical Research Institute

# グループ懇談が作る安全風土



ヒヤリハット収集

日常の談話



Railway Technical Research Institute

# グループ懇談のやり方



グループ懇談の様子

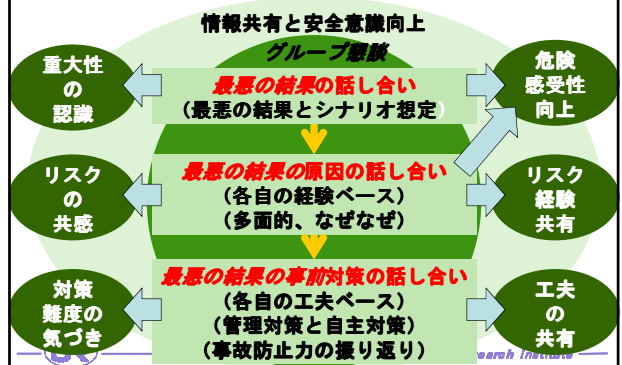
- 最悪どのような結果を招いていた可能性があるか
- 最悪の結果を引き起こす原因は何か
- 最悪の結果を未然に防ぐためには、どうしたらいいか (対策)

**決まりはない!**



Railway Technical Research Institute

# グループ懇談の基本的枠組み



## 最悪の結果の話し合い (究極のシナリオ作り)

### シナリオ例

作業	エラー	シナリオ	最悪の結果	
見張員は列車 進来方向を注 視	注視し ない	列車接近→ 線路内の機器・作業 員に接触・・・	脱線・ 転覆	死傷
停止位置不良 を指令に連絡 して退行	指令に 連絡し ない	後続列車を押しせず に退行→後続列車と 衝突	脱線・ 転覆	死傷



## 最悪の結果の原因の話し合い

見張員は、列車進来方向を注視していなかった

なぜ？

見張員はまだ列車は  
来ないと思ったため

なぜ？

見張りダイヤを確  
認していなかった  
ため

なぜ？

作業を手伝っていた  
ため

なぜ？

作業が遅れていたため



## 最悪の結果の対策の話し合い

### 管理対策

機器や環境の改良や手順や  
制度の改正など、改善要求  
的なものや理想的なもの

### 自主対策

意識づけや学習、やり方の  
工夫など、自分たちが明日  
からでも取り組める対策

### 特徴

重要だが他者依存的  
(安全意識向上には弱い)  
制限は自由な発想を妨害

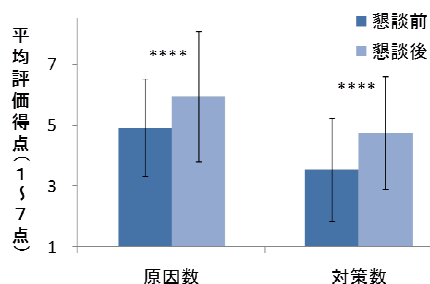
### 特徴

安全意識向上には重要  
精神論に陥らないよう注意

2つの方向の対策を意識した話し合い



## 回答数変化



## まとめ

- エラーの低減には、安全意識の向上が不可欠
- ハードウェアの落とし穴、リスク共有の不足によって、安全意識を保ちにくい。



グループ懇談で、リスクの共有を図る。  
グループ懇談で、危険感受性を高める。  
グループ懇談で、安全意識を向上させる。



## グループ懇談マニュアル

